



おぐに

2016

12

NO. 746





～寒空と歓声～

11月6日、第14回おぐに鍋まつりとおぐに再発見自然の恵み大感謝祭がショッピングセンターアスモ駐車場等で開催され、町内外から多くのかたが来場しました。寒空の中、様々な鍋料理の食べ比べを楽しむほか、おぐにの特産品などに舌鼓を打っていました。また、会場内ではバルーンアーティストによるアメを使ったマジックが披露され、間近でマジックを見た子どもたちは歓声をあげ驚きながら、大きな拍手を送っていました。

町の発展を支えて80年

米坂線が全線開通から80周年を迎えました



平成28年8月31日、米坂線が全線開通80周年を迎えました。本町発展に大きな役割を果たしてきた米坂線。車社会の進展などの影響により年々利用者は減少しています。しかし一方で少子高齢化が進む中、地域を守る足としての機能や観光交流の取り組みに向け本町や沿線市町村にはなくてはならない公共交通機関です。今月は米坂線の80年の歴史を振り返りながら、今なお重要な役割を担っている米坂線のこれまでの歩みを紹介します。

米坂線と本町経済

米坂線は、大正15年9月28日に今泉線（米沢・今泉間）の運行が始まったことを起源としています。その後、昭和11年8月31日に越後金丸・小国間が開通して全線開通を迎え、名称を米坂線と改めました。

本町は周囲を険しい山々に囲まれ、急こう配の峠道も多く、貨物の輸送は困難であり、特に冬は積雪のため通行不能になることもありました。しかし、米坂線全線開通が本町の閉鎖的な立地条件を緩和し、町民の生活圏域を大幅に広げることになりました。これによって、米沢市や新潟県などの近隣市町村との結びつきも強化され、産業はもとより、生活、文化の大きな発展につながりました。

米坂線の80年の歴史

大正11年10月

今泉線（米沢・今泉）着工

大正15年9月28日

今泉線（米沢・今泉）開通

昭和3年2月

今坂東線（今泉・小国）

今坂西線（小国・坂町）着工

昭和6年8月10日

（今泉・手の子）開通

（坂町・越後下関）が開通し、今坂西線として新規営業

今坂西線として新規営業

昭和8年11月10日

（手ノ子・羽前沼沢）開通

昭和8年11月30日

（越後下関・越後金丸）開通

昭和10年10月30日

（羽前沼沢・小国）開通

昭和11年8月31日

（越後金丸・小国）開通により、米坂線と改称し全線開通

米坂線と改称し全線開通

昭和15年3月5日

小国・玉川口間雪崩のため列車が荒川に転落（死者15人、重軽傷者27人）

重軽傷者27人

昭和35年11月1日

仙台・新潟間に準急「あさひ」

仙台・新潟間に準急「あさひ」



ショッピングモールエコ前



萩生駅



羽前椿駅



小国駅



伊佐領駅

米坂線全線開通80周年記念イベント「米坂線に手をふろう」の様子（8月28日実施）

米坂線の全線開通により、本町は農業主体の町から工業の町へと大きく変化していきましました。

昭和11年、東京芝浦電気(株)(現・(株)東芝)の傍系会社である日本電興(株)が長者原に発電所を建設するため調査を始め、翌年には工事に着手しました。これに並行して、町中心部に敷地を買収して製造所の建設を進めていました。



米坂線が開通した当時は、町内の多くは稲作を主とした農家で、豊富な林産物に恵まれた自給自足の暮らしを送っていました。また、積雪のある長い冬期間はわずかな出稼のほかは、製炭やわら細工などを営むなど雪に閉ざされた生活をしていました。こうした生活の中で、米坂線の全線開通は町民の悲願であり、これによって、通年の物流が可能となり、本町の経済が急速に発展していきました。

運行開始	
昭和38年1月26日	豪雪のため10日間不通
昭和42年8月29日	羽越水害のため不通
昭和43年6月28日	羽越水害不通から復旧
昭和60年3月14日	小国駅が旅客駅化(貨物取扱廃止)
昭和62年2月19日	米坂線整備促進期成同盟会設立
昭和62年4月1日	国鉄分割民営化
平成3年8月27日	急行「べにばな」の運行区間が米沢〜新潟間になり、快速列車となる
平成4年7月1日	山形新幹線開業
平成7年12月1日	玉川口駅を廃止
平成11年12月4日	山形新幹線新庄延伸
平成28年8月28日	80周年記念イベント開催
平成28年8月31日	米坂線全線開通80周年
平成28年9月28日	米坂線開業90周年

特集 町の発展を支えて80年～米坂線が全線開通から80周年を迎えました～



高野 孝 さん

日本電興(株)小国製造所は、荒川水系の豊富な電源に着目し自家発電をすることを前提に、多量の電力を必要とする合金鉄製品を製造する計画で建設されました。車や道路が整備されていなかった当時は、鉄道が唯一の輸送手段でした。当時の様子について、同社に勤務していた高野孝さん（あけぼの）に話を伺いました。

「高校生の時、毎日米坂線で米沢市に通っていました。当時は5両編成のSL列車で、毎日満員電車でした。今のようには車はなく、高校生だけでなく大人も利用していました。その後、昭和37年日本電興(株)に入社しました。小国駅から日本電興(株)小国製造所の正門まで人が途切れることのない

現在の米坂線の状況

行列ができるほど、多くの人が米坂線を利用して通勤していました。会社では、資材搬入、製品出荷のための専用線を小国駅から工場敷地内に引いていました。38豪雪で10日間不通になった時は、資材搬入も製品出荷もできず、仕事がストップしてしまいうほど、日本電興(株)小国製造所にとって米坂線は重要なものでした。」

モーターゼーションの進展に伴い、人々の移動手段は主に鉄道から車へと移り変わりました。こうした中、人口減少の著しい地方路線は、朝夕の通学利用者が中心となるなど、一般利用者が減少している状況にあります。現在、本町から米沢長井方面に進学している高校生は約90人で、その多くは米坂線で毎日通学しています。現在、同線を利用して通学している嶋貫涼太くん（あけぼの）に話を伺いました。



嶋貫 涼太 くん

「毎朝6時の始発に乗って米沢工業高校に通っています。友人と4人掛けのボックス席に座っていますが、飯豊や川西から多くの高校生が乗ってくるので始発は通路もなくなるほどの満員電車になります。初めて米坂線に乗った時、窓から見る景色がとてもきれいだと感じました。春の萩生駅の満開の桜や最近のスーパームーンなど、米坂線に乗っていたことで普段の生活では気付かなかった綺麗な景色を見ることができました。米坂線がなければ、高校生は通学できなくなるばかりか、他校の友達との交流の場がなくなり、3年間工業クラブに在籍し、ものづくりコンテスト東北大会に出場できたのも、米



③



②



①

①昭和32年松岡駅 ②昭和38年38豪雪から10日ぶりに運転再開 ③昭和43年羽越水害から10か月ぶりに運転再開

④昭和43年玉川口駅 ⑤日本電興(株)から貨物列車が出発



⑤



④

特集 町の発展を支えて80年～米坂線が全線開通から80周年を迎えました～

坂線があつて米沢工業高校に通えたからです。」

米坂線の1日当たりの利用者は、昭和63年は1124人でしたが、平成27年には405人となっています。運賃別の利用を見ると、昭和63年に全体の約56%を占めていた普通運賃利用が、平成27年には約28%までに半減しています。

町では、年々米坂線の利用者が減少する中、沿線の景色やゆつたりとした快適な旅を楽しんでもらおうと、東日本旅客鉄道(株)新潟支社などの関係機関と連携しながら米坂線の利用促進を図る取り組みを行っています。

具体的な取り組みとして、今年7月に計3回のツアーを受け入れ、米坂線の利用促進と本町の観光振興を図っています。このツアーは、新潟駅と米沢駅から小国駅に運行される臨時列車を利用し、本町の自然を満喫できる樽口峠七曲りコースや温身平森林セラピー基地の散策や飯豊温泉入浴などを楽しむプログラムです。こうしたツアーを受け入

れながら、本町の観光振興を図っており、観光交流推進のうえでも米坂線はなくてはならない重要な役割を果たしています。

米坂線整備促進期成同盟会

米坂線の利用促進を進めるため、新潟・山形両県、米坂線周辺の4市5町2村と関係団体で構成する米坂線整備促進期成同盟会が、昭和62年2月19日に設立されました。

同盟会では、これまで沿線リーフレットの作成や米坂線利用促進シンポジウムの開催などを行うとともに、東日本旅客鉄道(株)に対し新幹線との接続の向上や、より利用しやすい運行ダイヤへの改善など

『米坂線』で動画検索



の要望活動も行っています。

今年8月28日に全線開通80周年記念イベント「米坂線に手をふろう」を開催し、その様子を動画にしてホームページに掲載しています。また、現在80周年記念フォトコンテストの作品を募集中です。

米坂線と小国駅の活用

利用者が減少する米坂線ですが、沿線地域や住民にとって欠かせない路線であり、今もなお重要な役割を果たしています。

小国駅の福田清和駅長は、「米坂線は、磐越西線などと同様に内陸と海側をつなぐ役割を果たしています。中越地震の時には、上越新幹線が不通となり米坂線の利用者が多くなりました。現在小国駅の利用者は、多くが高校生です。夏場には登山客も利用しています。飯豊連峰や温身平、赤芝峡などの観光資源があるように、沿線各地に魅力があります。また、車窓からの景色も奥只見



J R小国駅 福田 清和 駅長

線などに負けないくらいきれいだと思います。こうした資源を活用しながら、観光客を誘致することで利用者の維持・増加につながればと思います。小国駅としても関係団体と連携し各種取り組みを展開していきたいと考えています。」と話してくださいました。

米坂線は利用者が減少する一方、沿線地域の観光振興との結びつきを図ることでさらにその活性化が期待されます。

町では、今後とも米坂線整備促進期成同盟会を構成する沿線市町村や小国駅など関係機関との連携をさらに強化するとともに、魅力ある観光資源の活用とあわせ、米坂線の利用拡大に努めていきます。

平成28年度

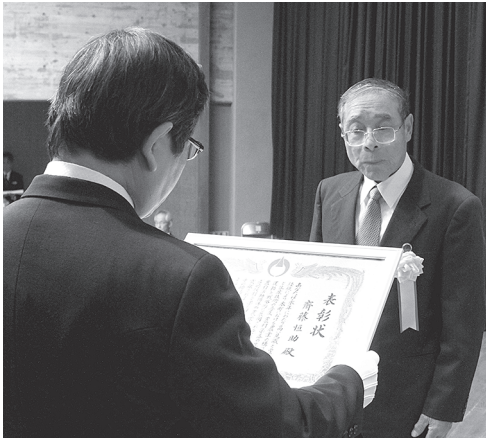
文化の日表彰式

小国町文化の日表彰式を11月3日、おぐに開発総合センターで開催し、本町の振興発展に貢献された10人、2団体を表彰しました。表彰内容と受賞者は次のとおりです。

■功労表彰

齋藤 恒助 氏（緑町）

永年にわたり、高い見識と豊富な経験により、本町における農業の構造改善と生産技術の普及、農村集落の生活改善運動を戦略的に展開されるところに、農業農村活動団体や農業の担い手の育成に指導



的役割を果たすなど本町の産業振興に貢献されました。

■感謝状

東日本旅客鉄道㈱小国駅

昭和11年に国鉄米坂線全線が開通されて以来80年の永きにわたり、本町における公共交通機関として、町民の利便性確保、産業経済活動の振興に寄与されました。

■東北労働金庫

小国地区推進委員会

会の創設以来、地域における勤労者の福祉向上を図るとともに、24年の永きにわたり中心市街地における清掃活動を積極的に展開され、奉仕の精神により地域の環境美化に

平成28年度 文化の日表彰式



貢献されました。

■永年勤続表彰

農業委員（15年以上）

安部 文雄 氏（長沢）

駐在員（10年以上）

伊藤 秀 氏（玉川）

伊藤 慎太郎 氏（小玉川）

民生委員・児童委員（12年以上）

馬場 高子 氏（小国小坂町）

大友 昭男 氏（岩井沢）

羽田 みえ子 氏（岩井沢）

佐藤 良弘 氏（足水中里）

農業振興組合長（10年以上）

近 健広 氏（杉沢）

川上 忠 氏（舟渡）

税に関する表彰式

長井税務署（播磨依子署長）の税に関する表彰式が、11月14日に長井市のタスポークホテルで行われました。

中学生の表彰で、小国中学校3年の原田陽司くん（越中里）が山形県納税推進協議会長賞、同3年の安部匠太くん（長沢）が置賜総合支庁長賞、同3年今ひろみさん（舟渡）が小国町長賞を受賞し、表彰状と記念品が贈られました。



原田陽司くん（右）、安部匠太くん（中央）、今ひろみさん（左）

平成28年度

古田歌舞伎公演



平成28年度古田歌舞伎定期公演が、10月29日、小国小学校体育館を会場に行われ、「白波五人男」と「絵本太功記十段目尼崎閑居の場」が上演されました。

古田歌舞伎は、古くは古田芝居として演じられていましたが、昭和33年の公演を最後に一時中断されました。昭和61年に地域住民の熱い思いにより名を「古田歌舞伎」に改め28年ぶりに復興し、今年で31年目となります。

今年は、小国中学校の全校生徒のほか町内外から多くの観客が詰めかけ、迫力ある演技と役者ひとり一人の見得を切る姿に大きな歓声と拍手が贈られていました。



平成28年 秋の叙勲

仁科 光悦 さん

旭日双光章を受章



元小国町議会議員の仁科光悦さん（尻無沢）が、旭日双光章を受章されました。仁科さんは昭和54年4月から平成19年4月まで7期28年の永きにわたり、活発な行動力と卓越した見識を持って地方自治の振興発展に貢献されました。在職中、副議長、文教産建・総務・厚生・産業建設の各常任委員会及び議会運営委員会の委員長の要職を務められ、まちづくりに尽力されました。

佐藤 健 さん

瑞宝単光章を受章



元小国町消防団分団長の佐藤健さん（舟渡）が、瑞宝単光章を受章されました。佐藤さんは、昭和43年6月から平成22年3月まで42年の永きにわたり、消防団員として多くの災害現場で活躍されました。平成16年4月からは第5分団の分団長として、団員の指導育成に努め、分団内の活性化と近代的な組織作りに尽力するとともに、地域住民の火災予防意識の高揚と啓発を図り、地域ぐるみの防災体制づくりに貢献されました。

vol.3



「異文化交流」

2年 山村 晃生



山村 晃生 くん

今回の修学旅行を通して、日本とは異なる文化を学ぶことができました。私は海外に行った経験がなく、異文化に対する関心はあまりありませんでした。しかし、飛行機でアメリカに到着すると、日本とはまったく異なる景色が目の前に広がりました。私の脳内で、興奮や感動といった感情が爆発しました。これといって興味があつたわけでもないアメリカに、一気に興味わいた瞬間でした。

ホテルで一夜を過ごしたのち、修学旅行のメインイベントであるベニス高校での交流会に参加しました。練習してきたパフォーマンスがアメリカの高校生たちに向けた手ごたえが確かにあり、日本に対する好印象を与えられたと思いました。

班ごとの交流会では、ベニス高



校の生徒が得意げに日本語を話してくるのに対し、私はぎこちない英語で返事をするのが精一杯で、双方の異文化への関心にどれだけの差があるのかということがはっきり分かりました。

異文化への関心は、グローバル化する私たちの将来において、コミュニケーション能力の向上などに直接関わってきます。そのため、今回の経験はとても貴重で重要なものであり、異文化への考え方を大きく変えるきっかけとなりました。



保育児童・小学生をお持ちの保護者の皆さんへ

平成29年4月からの保育所・中央児童室の利用申し込みのお知らせ

保育所

平成27年4月から「子ども・子育て支援制度」が始まり、新たに保育所を利用するためには、保育を必要とする事由に該当し支給認定を受ける必要があります。

※保育を必要とする事由

(就労(フルタイム、パートタイム)、妊娠・出産、保護者の疾病・障がい、同居または長期入院している親族の介護・看護、求職活動、就学等)

支給認定の手続き

■対 象 平成29年4月から新たに保育所の利用を希望するかた

■申請書 12月1日(木)から健康福祉課、各保育園にて配布します。

■申込期間 平成28年12月7日(水)～14日(水)【平日18：30まで受付（土日は休み）】

■申請場所 健康福祉課（受付時にその場で保護者のかたと面談し、保育を必要とする状況等について確認させていただきます。）

■提出書類 「支給認定申請兼利用申込書」 及び必要書類（詳細は配布時に説明します。）

■その他 健康福祉課に「保育所一覧」を備えていますので、施設希望の参考にしてください。

★現在入所しているお子さんについて

平成29年1月に「現況届」の提出について別途お知らせします。

中央児童室

中央児童室は、小学校に就学している留守家庭児童への支援として行うものです。

入所の手続き

■対 象 平成29年4月から中央児童室の利用を希望するかた

※今年度入所しているかたも新たに申込みが必要です。

■申請書 12月1日(木)から中央児童室、各保育園、健康福祉課にて配布します。

■申込期間 平成28年12月7日(水)～14日(水)【平日18:30まで受付(土日は休み)】

■申込場所 健康福祉課

■提出書類 「小国町中央児童室入所申請書」及び必要書類

■定員 70人 ※申込者が定員を超えた場合は、家庭で保育できない程度を判断するとともに、低学年を優先的に入所決定させていただきます。

■申込・問合先 健康福祉課 (☎61-1000) へ



ルおきたま農業協
同農業協同組合連
ミラー4基が寄
高団体では、地域
ある事故の未然
昭和48年から毎
年置賜管内3
市5町にカー
ブミラーを寄
贈しています。
寄贈されたカ
ーブミラーは
町内の見通し
の悪い道路に
設置されます。

■カーブミラー4基

10月30日、山形
局長会西置賜部
長）から老人保
健施設温身の郷
に車いす5台を
寄贈いただきました。
車いすは
温身の郷で活用
されます。



寄附・寄贈

■車いす5台

10月30日、山形県南部地区郵便局長会西置賜部会（須貝淳部会）

お知らせします

小国町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、職員数、給与、勤務条件等の状況について、その概要をお知らせします。なお、詳細は町ホームページで公開しています。(http://www.town.oguni.yamagata.jp)

■主な職員手当の状況（一般職）

（平成28年4月1日現在）

扶 養 手 当	・ 配偶者 13,000円／月 ・ 扶養親族1人につき6,500円（配偶者がいない場合11,000円） （満16歳から22歳までの子につき5,000円加算）
住 居 手 当	・ 借家 月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に対し、 27,000円／月を限度に家賃に応じて支給
通 勤 手 当	通勤距離2.0km以上を対象に支給 ・ 交通機関等利用の場合 運賃等相当額 限度額55,000円／月 ・ 自動車等利用の場合 距離数に応じて支給 2,500円～30,900円／月
期末勤勉手当	基準日（6月1日、12月1日）に在職する職員に支給 期末手当 勤勉手当 ・ 6月期 1.225月分 0.8月分 ・ 12月期 1.375月分 0.8月分 ※3級以上の職員に対し、職務の級に応じて5%～15%の加算措置有り

（各年度一般会計決算）

時 間 外 勤 務 手 当	区 分	支 給 総 額	1人当たり平均支給額
	26年度決算額	42,988千円	467千円
	27年度決算額	43,878千円	477千円

退 職 手 当	自己都合	勤続・定年
勤続20年	20.4450月	25.55625月
勤続25年	29.1450月	34.58250月
勤続35年	41.3250月	49.59000月
最高限度額	49.5900月	49.59000月
※定年前早期退職者に対して2%～45%の加算措置有り		

■特別職の報酬の状況

（平成28年4月1日現在）

		月 額	期 末 手 当
給 料	町 長	810,000円	6月期 1.5月分
	副 町 長	630,000円	12月期 1.6月分
	教 育 長	560,000円	合 計 3.1月分
報 酬	議 長	310,000円	6月期 1.5月分
	副 議 長	250,000円	12月期 1.6月分
	議 員	235,000円	合 計 3.1月分

※特別職の期末手当は、給料月額に35%加算したものに支給割合を乗じます。

■勤務時間（標準的なもの）

（平成28年4月1日現在）

1週間の勤務時間	勤務時間の割り振り			週休日
	始業時間	終業時間	休憩時間	
38時間45分	8:30	17:15	12:00～13:00	土曜日・日曜日

■休暇制度の概要

有給 年次有給休暇・病気休暇・特別休暇（結婚、出産、忌引き、夏季休暇、社会奉仕活動など）
無給 介護休暇・組合休暇

■問合せ先 総務企画課行政管理室（☎62-2112）へ



町職員の給与・人事行政の内容を

■採用の状況

(平成28年4月1日)

	男	女	合 計
一般行政職	5人	2人	7人
医 師	0人	1人	1人
看 護 師	0人	1人	1人
保 育 士	0人	1人	1人
調 理 師	0人	1人	1人
学校教育専門員	0人	1人	1人
合 計	5人	7人	12人

■退職の状況

(平成27年4月1日から平成28年3月31日)

	男	女	合 計
定 年 退 職	2人	1人	3人
勸 奨 退 職	0人	1人	1人
普 通 退 職	5人	0人	5人
合 計	7人	2人	9人

■職員数の状況

(平成28年4月1日現在)

	一般行政職	税務職	医師職	医療技術職	看護保健職	福祉職 (保育・介護)	企業職	技能労務職	その他 教育職	合計
27年度	89人	6人	4人	15人	44人	13人	2人	4人	1人	178人
28年度	92人	7人	4人	15人	45人	13人	2人	5人	1人	184人
増 減	3人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	6人

※町長、副町長、教育長を除いた人数です。

■一般行政職の級別職員数の状況

(平成28年4月1日現在)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
標準的な職務	主事補・主事	主任	係長	主査	室長	主幹・課長
職 員 数	20人	13人	24人	10人	11人	14人
構 成 比	21.7%	14.1%	26.1%	10.9%	12.0%	15.2%

■人件費の状況

(平成27年度一般会計決算)

住民基本台帳人口 (平成28年3月末)	歳 出 総 額 (A)	人 件 費 (B)	人 件 費 率 (B / A)	26年度人件費率
8,034人	6,258,067千円	854,384千円	13.7%	14.2%

■職員給与費の状況

(各年度一般会計当初予算)

区 分	職 員 数 (A)	給 与 費				1 人 当 た り 給 与 費 (B / A)
		給 料	職 員 手 当	期末勤勉手当	計 (B)	
27年度	106人	381,803千円	79,537千円	138,909千円	600,249千円	5,663千円
28年度	108人	389,175千円	88,083千円	144,720千円	621,978千円	5,759千円

■平均給料月額・平均年齢

(各年度4月1日現在)

区 分	平成27年度			平成28年度		
	平 均 年 齢	平均経験年数	平均給料月額	平 均 年 齢	平均経験年数	平均給料月額
一 般 行 政 職	41.5歳	20.0年	302,100円	40.6歳	19.1年	300,400円
技 能 労 務 職	49.8歳	28.0年	285,100円	45.9歳	24.3年	263,400円

■初任給の状況

(平成28年4月1日現在)

		小国町	国
一般行政職	大学卒	176,700円	176,700円
	高校卒	144,600円	144,600円
技能労務職	高校卒	142,000円	142,000円

■ラスパイレス指数の水準

(各年度4月1日現在)

	25年度	26年度	27年度
小 国 町	99.7 (92.1)	93.1	94.2
県内町村平均	102.3 (94.5)	96.8	97.3
全国町村平均	103.2 (95.4)	95.6	95.8

※ラスパイレス指数は、国家公務員の給与水準を100とした場合の給与水準を示す指数です。() 内は、国家公務員の時限的な給与改定特例法による措置が無いとした場合の参考値です。



芸術の秋、思い思いの世界を堪能 ～白い森芸術祭2016～



茶道体験



芸能まつり



山遊亭金太郎師匠寄席

9月30日から12月3日までの65日間、白い森芸術祭2016が開催され町内各所で様々な展示会や公演、コンサートが催されました。

11月3日から5日まで、町民総合体育館で開催された作品展示会では、町民のかたが制作した書画や生け花、俳句、押し花絵画、織物などさまざまな種類の作品約600点が展示され、3日間で約600人が来場しました。同会場では、書道や華道、茶道を体験することができるコーナーや茶席が設けられ、来場者が自分だけの作品制作をしたり、個性あふれる作品を鑑賞したりと、穏やかなひと時を楽しんでいました。

また、11月3日は芸能まつりが小国小学校体育館で、民謡まつりがおぐに開発総合センターでそれぞれ開催され、会場には町内外から多くの方々が訪れました。ハーモニカ演奏や小国中・小国高吹奏楽部による演奏、民謡や踊りなどが披露され、来場客から出演者に大きな拍手が贈られていました。

11月5日におぐに開発総合センターで開催された山遊亭金太郎師匠寄席では、町内の小学生5人による子供落語や雷門小助六の落語、コント青年団の息の合ったコントの後、山遊亭金太郎の落語「井戸の茶碗」が披露され、会場は大きな拍手と笑い声に包まれました。

力強いアタック・激しいラリーの攻防戦 ～第44回地区対抗婦人バレーボール大会～

11月13日、第44回地区対抗婦人バレーボール大会が町民総合体育館を会場に開催され、8地区が出場しました。

試合では、これまでの練習の成果を発揮しながら、難しいボールのレシーブやお互いに譲らないラリー、力強いアタックなど様々なプレーで熱戦を繰り広げていました。結果は、優勝が町岩東地区、2位が沖庭地区、3位が北部地区、東南部地区となりました。町岩東地区は今年の優勝で3連覇となりました。



飯豊山麓で健脚競う

～第35回飯豊連峰紅葉ジョギング大会～

第35回飯豊連峰紅葉ジョギング大会を、10月23日、旧小玉川小中学校を発着点とするコースで開催しました。県内外から約180人が参加して、13キロ、5キロ、2キロ、ウォークアンドラン（6.5キロ）の4部門に分かれて健脚を競いました。時折雨が強く降る中、参加者はゴールを目指して軽快に走り、小玉川の自然と紅葉を満喫しながら心地よい汗を流しました。ゴール後は、芋煮の振舞いや地元産野菜の販売、地元特産品などが当たる抽選会を行ったほか、飯豊温泉に浸かり汗を流して楽しい一日を過ごしていました。



飼育技術の向上を

～小国町和牛共励会～



11月1日、小国町和牛共励会がJ A山形おきたま小国営農センターで行われ、畜産農家や関係者約50人が参加しました。町内畜産農家12戸が飼育した黒毛和牛20頭が出品され、年齢等に応じて3部門に分かれ審査が行われました。審査の結果、遠藤寛寿さん（大宮）の「いしみつ号」、鈴木富夫さん（団子山）の「みち号」、小嶋剛さん（町原）の「けいの1号」がそれぞれ優秀賞1席に輝きました。



緑のふるさと協力隊 のぐち 野口 たつひこ 達光



「紅葉色増す小国の秋は～♪」

10月末の古田歌舞伎公演は無事に終了し、11月3日には民謡研究会の発表に出演させて頂きました。恒例となった小国音頭では、歌詞を忘れてしまうトラブルもありましたが、皆様からの暖かい声援もあり、のびのびと歌うことができました。民謡に触れる機会は地元の盆踊りぐらいでしたが、小国町に来て発表の舞台まで頂けたこの経験は本当に貴重なものになりました。多くのかたにご来場頂きありがとうございました。

また11月11日には、北部老人会で昨年から実施しているカタモチ作りに参加させて頂きました。カタモチはうるち米で作ったお餅で、餅を突いて良い天気を「固める」という由来があるそうです。そして、クルミやキノコを持ち寄り、カタモチを作って老人会のOB・OGの方を招いた交流会も行われました。最近では日常的にカタモチを作ることもほとんどなくなってしまったそうですが、作る際の交流も併せて、こうした地域の文化は今後も残ってほしいと強く感じました。

募集

町営住宅入居者募集

《町営小坂町団地》

3DK 1戸（3階）

■家賃 所得と家族構成による

■対象 所得制限あり

《あけぼの高齢者団地》

1LDK 1戸（1階）

■家賃 所得と家族構成による

■対象

▽世帯所得が月額21万4千円以下で住宅に困っているかた

▽60歳以上のかたで自立した生活をおくることができ同居の場合は同居するかたが配偶者または60歳以上の親族であること。

《小坂町勤労者住宅》

2DK 2戸（1、2階）

2K 1戸（2階）

■家賃 38000円（2DK）

33000円（2K）

■対象 町内事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 12月12日（月）
■入居時期 12月下旬以降

■問合せ 地域整備課建設管理室（☎62・2431）へ

県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 9戸

■家賃 所得により決定

■対象 入居世帯の所得制限あり

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期間

12月12日（月）～16日（金）

■入居時期 2月上旬

■申込先

置賜総合支庁西庁舎（長井市）総合案内窓口

■問合せ

県営住宅指定管理者（株）西王不動産置賜事務所（☎0238・24・2332）へ

横根スキー場従業員募集

■職種

乗客係・改札係・出札係

■募集人数

若干名（年齢・性別不問）

■雇用期間

横根スキー場開設期間

■応募方法

履歴書（写真添付）を郵送してください

■申込締切 12月12日（月）

■申込・問合せ

〒999・1361 小国町大字栄町30 おぐに白い森（☎62・4518）へ

自衛官候補生等募集

■募集種目

①自衛官候補生

②陸上自衛隊高等工科学校生徒（一般）

■応募資格

①18歳以上27歳未満の男子

②15歳以上17歳未満の男子（平成29年4月1日現在）

■受付期間

①年間を通じて受付

②平成29年1月6日（金）まで

■試験日

①受付時にお知らせします

②平成29年1月21日（土）

■問合せ

自衛隊米沢地域事務所（☎0238・23・0011）へ

ご案内

『困難を抱える女性の自立を支援するために』研修会

■期日 12月18日（日）

■時間 13時30分～16時

■場所 山形男女参画センター（ファースト）5階視聴覚室

■対象 支援活動に興味のあるかた、NPO・行政関係者

■参加費 無料

■申込・問合せ 認定特定非営利活動法人山形創造NPO支援ネットワーク（☎0237・85・0727）へ

お知らせ

公立置賜総合病院から
面会についてのご案内

インフルエンザ流行の時期を迎え、入院されている患者さんは、免疫力の低下などで感染しやすいとなっています。感染予防のため流行時には、マスクの着用なしでは面会をお断りすることとなりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

12月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 12月16日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成28年8月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 12月16日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成27年12月生まれ

■1歳6か月児健診

- ・期 日 12月9日(金)
- ・受付時間 12:30~13:00
- ・対 象 平成27年4月、5月、6月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センターへ

子育て支援センターから

■12月の広場日程

広場名称	曜日	時間
なかよし広場 子育て講座は 12月8日(木)・15日(木)	月 火 木	9:30~11:30 
赤ちゃん広場		13:00~15:30

■対象者

なかよし広場 就学前のお子さんとお家のかた
赤ちゃん広場 18カ月までのお子さんとお家のかた

■その他

申込不要です。お気軽にご参加ください。(時間までに会場へお集まりください。)平日はいつでも子育て相談に応じています。

■問合先 子育て支援センター (おぐに保育園内 ☎62-2330)

求 人 情 報

右の表は11月21日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2016.12

12月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●12月26日(月)

水道料・固定資産税(4期)・国民健康保険税・後期高齢者保険料

●1月4日(水)

介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■問合先

町民税務課税政管理室へ

事業所名	職 種	求人数	勤務時間
UTエイム(株)新潟オフィス	(派) シリコン部材の加工業務	4人	8:20~16:50他
アクサ生命保険(株)長井営業所	商工会議所・商工会共済・福祉制度推進スタッフ	2人	9:15~17:00
大河内産業(有)	ダンプ・重機運転士	1人	8:00~17:00
	砂利プラント運転士	1人	
小国食糧(株)	販売員	1人	8:30~17:30
社会福祉法人小国福祉会	看護師(常勤正規職員)	1人	8:00~17:00他
(有)三栄自動車工業	自動車整備士	1人	8:30~17:00
(株)横川建設	重機オペレーター見習い	2人	8:00~17:00
	自動車整備工	1人	
	作業員	2人	
	現場管理(1級または2級土木施工管理技士)	1人	
	配送運転手	1人	
	事務員	1人	
安部工業(株)	現場監督員	2人	8:00~17:00
	運転手	2人	
荒川興業(株)	経理事務	1人	8:30~17:05
日本重化学工業(株)小国事業所	電子材料の製造スタッフ	10人	8:15~17:15他
(株)金十商店	(臨) 生鮮作業業務	1人	6:00~19:00の間の5時間程度
	(臨) 一般事務	1人	
	(臨) レジ業務	1人	
(株)ツルハツルハドラッグ小国店	販売員(急募)	10人	8:00~22:00の間の4時間程度(相談に応じます。)

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。

※町ホームページに求人情報を掲載しています。

JR 米坂線踏切の冬期通行止め

下記の踏切について、11月30日(木)から平成29年4月7日(金)まで通行止めとなります。

(朝篠踏切、西岩井沢踏切、増岡踏切は3月24日(金)まで)

■全面通行止めの踏切

霜下踏切(綱木箱口)、松坂踏切(伊佐領)、木落踏切(町原)、滝沢踏切(日本重化学工業(株)前)、増岡踏切(幸町)、赤芝踏切(赤芝峡)

■車両通行止めの踏切

朝篠踏切(朝篠)、西岩井沢踏切(岩井沢)

■問合先 地域整備課建設管理室(☎62-2431)へ

相 談

▽年金相談

- 日 時 12月21日(水)
10:30～14:00
- 場 所 役場町民相談室
- 対応者 米沢年金事務所職員
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合先 町民税務課住民窓口担当へ

12月の あいベイベント キッズサッカー教室



- 日 時 12月10日(土)9:00～12:00
- 対 象 幼児年中児～小学3年生まで
- 持ち物 室内シューズ、飲み物など
- 参加費 100円(保険代込み)
- 申込締切 12月9日(金)12:00まで
- 申込・問合先 おぐにYui
(☎62-5808) スポーツクラブ



町税の夜間および休日納税相談

■受付内容 町県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の納付と納付に係る相談

【休日相談】

12月11日(日) 9:00～17:00

【夜間相談】

12月12日(月)～15日(木) 17:30～20:00

■問合先

町民税務課税制管理室(☎62-2403)へ

米沢有為会

奨学生・学生寮生募集

公益社団法人米沢有為会では、平成29年度の奨学生と学生寮(東京・仙台興譲館寮)寮生の募集を開始しました。積極的な応募をお待ちしています。

■応募資格 置賜地域在住者または出身者の子弟で、平成29年4月大学入学予定者または在学生

【奨学生】

■貸費金額

月額4万円(年額48万円) 無利息

■募集人数

5人程度

【学生寮(東京・仙台興譲館寮)寮生】

■居住環境

個室(朝夕2食付)

■寮費(月額)

東京48,000円～

仙台42,000円～

■募集人数

東京7人程度

仙台4人程度

■その他

面接選考あり。

詳細については米沢有為会ホームページをご覧ください。

■問合先

公益社団法人米沢有為会米沢支部
(米沢市役所秘書広報課内)
(☎0238-22-5111内線3000)へ

総 合 セ ン タ ー 図 書 室 か ら

～新着図書～

◇強父論

休館日 毎週月曜日・祝日
阿川 佐和子

◇小説 君の名は。

新海 誠

◇花森安治のデザイン

暮らしの手帖社

◇リオデジャネイロオリンピック2016報道写真集

年末年始の休館情報等について

	水 道	町立病院	ごみ収集	小国中継施設 (リレーセンター)	総合センター、 町民体育館、あいべ	温水プール
29日(木)	清水設備 ☎67-2127	休診	一部地域 のみ収集	通常営業	休み	通常営業
30日(金)	山一住設(株) ☎61-0123	休診	休み	休み	休み	通常営業
31日(土)	小関住宅設備 ☎62-5347	休診	休み	休み	休み	10:00~16:30 (最終受付16:00)
1月1日(日)	パイプライン ☎62-2461	休診	休み	休み	休み	休み
2日(月)	設備佐藤 ☎62-5606	休診	休み	休み	休み	休み
3日(火)	津島屋電気店 ☎62-2404	休診	休み	休み	休み	10:00~16:30 (最終受付16:00)
問合せ先	地域整備課 建設管理室	町立病院 ☎61-1111	町民税務課 町民生活担当	小国中継施設 (リレーセンター) ☎63-2251	総合センター、 町民体育館、あいべ	温水プール ☎62-4248

※町立病院では急患について、一般外来休診中でも対応します。

※町民体育館とあいべは、12月28日(水)清掃作業のため休館になります。

※おぐに開発総合センターの温泉は、1月4日水設備点検のため休みにになります。

入札結果情報（平成28年10月21日～平成28年11月20日実施）

單位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期（完了）	予定価格	落札業者	落札価格
H28.11.9	松岡ポンプ庫建設工事	松岡	H28.12.20	4,461,000	伊藤建築	4,400,000
H28.11.9	平成28年度社会資本整備総合交付金事業 町道松岡大石線地質調査業務委託	朝篠	H28.12.22	2,640,000	新和設計(株)	2,500,000
H28.11.9	平成28年度社会資本整備総合交付金事業町 道松岡大石線雪崩予防施設詳細設計業務委託	朝篠	H29.2.17	1,710,000	(株)ケンコン	1,700,000
H28.11.9	平成28年度小国町工業用水道事業管理棟 排水路整備工事	小国町	H28.12.26	5,047,000	遠藤建設(株)	4,700,000
H28.11.11	温冷配膳車購入	あけぼの	H29.1.31	3,633,840	(株)中西製作所山形営業所	3,132,000
H28.11.18	農業基盤整備促進事業町原農道舗装工事	町原	H29.1.12	6,370,000	小国開発(株)	6,300,000
H28.11.18	町道除排雪作業業務委託（第1工区）	舟渡以北	H29.3.31	14,477,000	(株)高橋工務店	14,400,000
H28.11.18	町道除排雪作業業務委託（第2工区）	金目、貝少外	H29.3.31	7,150,000	(株)船山工務店	7,150,000
H28.11.18	町道除排雪作業業務委託（第3工区）	小渡、増岡外	H29.3.31	13,490,000	白洋社産業(株)	13,400,000
H28.11.18	町道除排雪作業業務委託（第4工区）	西、幸町外	H29.3.31	12,236,000	(株)横川建設	11,900,000
H28.11.18	町道除排雪作業業務委託（第5工区）	岩井沢、あけぼの外	H29.3.31	11,224,000	小国開発(株)	11,200,000
H28.11.18	町道除排雪作業業務委託（第6工区）	東原、伊佐領外	H29.3.31	13,448,000	安部工業(株)	13,400,000
H28.11.18	町道除排雪作業業務委託（第7工区）	東部一帯 (下叶水線・白沼除く)	H29.3.31	9,437,000	山和建設(株)	9,300,000
H28.11.18	町道除排雪作業業務委託（第8工区）	南部一帯	H29.3.31	10,073,000	玉川開発(株)	10,000,000
H28.11.18	町道除排雪作業業務委託（第9工区）	沼沢一帯	H29.3.31	12,220,000	遠藤建設(株)	12,000,000
H28.11.18	町道除排雪作業業務委託（第10工区）	癒しの園	H29.3.31	3,432,000	斎藤建設(株)	3,400,000
H28.11.18	町道除排雪作業業務委託（第11工区）	なごみ団地	H29.3.31	3,892,000	大和建設運輸(株)	3,850,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。



戸籍のまど

(10 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

大 滝 塚 原 ^{リゅう} 琉 (敏 哉
望 美

おくやみ申し上げます。

松 岡 加 藤 儀 一 (82)
北 藤 原 マ ス (72)
緑 町 大 津 建 夫 (72)
伊 佐 領 高 橋 ゃめの (89)
舟 渡 色 摩 君 子 (58)
岩 井 沢 佐 藤 松 雄 (62)
増 岡 小 関 ミユキ (94)
舟 渡 塚 原 キ ヨ (102)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (平成28年10月31日現在)

人口 男・・・3,952人(－12)
女・・・4,069人(－9)
計・・・8,021人(－21)
世帯数 3,104世帯(±0)

編集後記

ようやく町中にも冬の便りが舞い降りてきました。昨シーズン、中心部で積雪1mを超えた日は4日だけでした。この秋、ヘンクサが大量発生し、ある家の壁一面にいたことが脳裏をよぎります。今年の冬はどれくらい雪が降るのでしょうか。雪があるからこそできる活動も様々あります。冬が待ち遠しいかたもいるのではないのでしょうか。四季折々の楽しみを持って生活することで、小国の良さがさらに見えてくるのかもしれませんね。(斎藤)

シリーズ⑧

僕たち、私たちのスポーツ少年団

『北部スポーツ少年団』



北部スポーツ少年団は、小学3年生から6年生までの3人の団員で夏季はスケートボード、冬季はスノーボードを行っています。今年開催されたFULL PUSH JAM (フルプッシュジャム) 2016富山大会において、9歳以下の部で優勝するなど優秀な成績を収めています。また、舟山聖さん(越中里)と舟山京(ちか)くん(越中里)は公益財団法人新潟県スキー連盟スノーボードジュニアの強化指定選手になっています。

指導をしている舟山佳史さん(越中里)は、「今はまだマイナーなスポーツかもしれませんが、スケートボードがオリンピック種目になったことで今後メジャーになることを願っています。今は手探りで活動を行っていますが、子どもたちがスケートボードやスノーボードを通して、たくさんの友達を増やして、楽しんでもらえればと思っています」と話してくださいました。

舟山京くんは、「スノボーで難しい技を決められた時がとても楽しいです。大会で大技を決めて優勝できるように頑張って練習しています。将来は、プロライダーになってスケボーとスノボーのショップを自分で開きたいです」とスノーボードの魅力と夢を話してくれました。

